

平成31年度

就労定着支援促進事業について

(就労移行等連携調整事業)

事業実施の背景①

「就労定着支援事業」に係る就労支援専門部会での意見

- 就労定着支援事業所相互のネットワークが構築されていない
- 対象者を地域で支えていく体制作りが必須
- なかぼつセンター等の支援機関とどのように連携していくか
- 就労定着支援事業所の底上げが必要

事業実施の背景②

国の就労移行等連携調整事業を活用

- 働く意欲のある障害者に対し、就労支援に係るノウハウを有した機関において、その特性や能力を活かすことができる「働く場」に円滑に移行することができるよう支援を行うとともに、その支援体制の構築の推進を目的とした事業。
- 事業内容は、①支援対象障害者等に対するアセスメントの実施
②支援対象障害者等に対する適切な「働く場」への移行に向けた支援③支援対象障害者等に対する支援体制の構築
⇒平成31年度より就労定着支援促進事業として実施。

事業概要（事業計画）

- 働く意欲のある障害者がその能力や特性を活かし、最も適切な働く場に円滑に移行できるよう支援（直接支援）
 - 就労アセスメントの実施
 - 関係機関が情報共有し、アセスメント情報を共有
 - 支援計画の策定
 - 個別支援会議を通じた適切なモニタリング
- 就労関係機関協働による支援体制の構築を推進
 - ネットワーク会議・研修会の開催を通じた情報共有・スキルアップ
 - 共通ツールとしての支援ガイドラインの作成（事例集）

事業実施体制

- 千葉県内の全ての障害者就業・生活支援センター（16センター）が加盟する千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会の事務局を担っている社会福祉法人佑啓会が事業受託。
- センター長松橋を中心に、兼務職員を配置。
- 協議会の全面的なサポートを受け、全圏域で事業展開。

具体的取組①

関係機関とともに実施した個別支援会議の開催状況

圏域	センター名	回数	圏域	センター名	回数
千葉	千葉障害者キャリアセンター	86	市原	ふる里学舎地域生活支援センター	42
習志野	あかね園	20	君津	エール	3
船橋	大久保学園	64	安房	中里	0
市川	いちされん	20	夷隅	ピア宮敷	0
野田	はーとふる	4	山武	山武プリオ	47
松戸	ピックハート松戸	5	長生	長生プリオ	2
柏	ピックハート柏	12	海匝	東総就業センター	22
印旛	就職するなら明朗塾	17	香取	香取就業センター	38

- 各圏域で計382回実施。
- 各センターとも、就労定着支援事業所など就労系事業所、相談支援事業所、企業などを交えて個別支援会議を行っている。

具体的取組②

各圏域で実施したネットワーク会議開催状況

圏域	センター名	回数	内容
千葉	千葉障害者キャリアセンター	6	①「障害が窺われる生活困窮者への支援概要」②SMBCグリーンサービスの取り組み「全国就業ネットワーク定例研究・研修会」③「アマゾンジャパン合同会社の取り組み」④スターティアウィル㈱「障害者の雇用管理について」⑤レバレッジズ(株)「障害者雇用の取り組みと求人案内」⑥未定
習志野	あかね園	4	「働く本人の主体性を考える」①企業編、②本人編、③家族編、④支援機関編
船橋	大久保学園	2	①「就労定着とは」②「障害者雇用をしている企業見学と企業担当者の講演」
市川	いちされん	2	①「定着支援の現状と課題について」②「福祉サービスにおける課題について集約」
野田	は一とふる	4	①「事業所及び関係機関への引継ぎについて情報共有・意見交換」②「医療法人社団 圭春会小張総合病院のご担当者様と雇用されている方の想いを発信及び意見交換」③「就労継続支援B型事業所についての話題提供・意見交換」④「未定」
松戸	ビックハート松戸	3	①「働く前に大事なこと、働いてから大事なこと」②「生活支援と就労支援の連携のあり方」③「発達障害やその傾向にある方との向き合い方」

具体的取組②

各圏域で実施したネットワーク会議開催状況

圏域	センター名	回数	内容
柏	ビックハート柏	5	①「各事業所との連携強化、情報共有を踏まえて」②「各事業所の就労支援における生活支援の関わりについて」③「台風15号～あの時私達は～」④「支援者のメンタルヘルス」⑤「内容未定」
印旛	就職するなら明朗塾	2	①「就労定着支援について」②「発達障がい者の就業支援について」
市原	ふる里学舎地域生活支援センター	2	①「障害者雇用の現状と質」②「障害者就労における採用から定着支援までの支援の在り方について」
君津	エール	3	「発達障がい者の就労について」①特性を知る②特性を知るその2③職場の環境づくり、対応について
安房	中里	2	①一般高校における進路に関して②「就労定着支援事業所との連携」

具体的取組② 各圏域で実施したネットワーク会議開催状況

圏域	センター名	回数	内容
夷隅	ピア宮敷	2	①「センター説明と地域意見交換会のあり方について」②「未定」
山武	山武プリオ	6	①「山武圏域自立支援協議会」②「困難事例検討」③臨床心理士による「プレ・リワーク」プログラムと認知行動療法について④「障がい者雇用の促進について」「職業準備性及び職業準備性を高めるための支援」「就労支援に関わる連携の在り方について」⑤「ハローワークシステム変更・就労パスポートについて」⑥「内容未定」
長生	長生プリオ	4	①「企業を含めた情報交換・相談会について」②「就労アセスメントについて、企業を含めた情報交換・相談会について」③S社、F社について、事業所の現場職員向け研修について④「事業所の現場職員向け研修（予定）」
海匠	東総就業センター	1	①「地域で私らしく暮らしていくために」
香取	香取就業センター	1	①「障害のある方の就労について考えよう」

- ・各圏域で計49回実施。
- ・各センター主催で実施。参加者は就労定着支援事業所等、就労系事業所、相談支援事業所、当事者団体、行政、保護者、企業など。

具体的取組③ 各圏域で実施した研修会

圏域	センター名	回数	内容
市川	いちされん	2	①「就労定着支援意見交換会」②「いちされん研修 虐待について」
野田	はーとふる	1	①「障害者雇用を複数名しているベルクス七光台店の見学及び意見交換」
松戸	ビックハート 松戸	3	「移行支援事業所との意見交換会」①就労移行支援における生活面の課題に対するアプローチについて②「定着支援について」③内容未定
印旛	明朗塾	5	①「企業情報説明会」②「企業合同説明会四街道」③「企業合同説明会成田」④「おしごと発見フェアin印西」⑤「企業合同説明会佐倉」
安房	中里	1	①「特例子会社見学会舞浜コーポレーション」
夷隅	ピア宮敷	1	①「ノウフクフォーラムin夷隅」

具体的取組③ 各圏域で実施した研修会

圏域	センター名	回数	内容
山武	山武プリオ	1	①「企業が求める人物像～就職に向けて準備すること～」
海匠	東総就業センター	7	①「ジョブコーチスキルを通して職場定着支援について考える」②③④「海匠圏域就労系事業所連絡会」⑤「ビジネスマナー、履歴書の書き方、面接の受け方」⑥「企業が求める人材とは・働き続けるために大切なこと」⑦「実際に障害者雇用で働くとは？」
香取	香取就業センター	3	①②「就労支援ネットワーク会議」③「就業支援者育成セミナー 働き続けるを支えるアプローチについて」
市原	ふる里学舎地域生活支援センター	1	①「就労促進ミニフォーラム」座談 「はたらくを考える」

- ・各圏域で計25回実施。
- ・各センターがランダムに実施しており、その中で就労への移行や定着などをキーワードとした研修会。参加者は就労系事業所、障害者雇用企業など。

具体的取組④ 協議会を通じて実施したネットワーク会議・研修等

日付	テーマ	主な参加者
8月23日	連絡調整会議「就労定着支援事業の現状と課題について」	千葉県(職業対策課、障害福祉事業課、産業人材課、総務課)、千葉県教育庁特別支援教育課、千葉障害者職業センター、千葉県立障害者高等技術専門学校、高齢・障害・求職者雇用支援機構、千葉県特例子会社連絡会、千葉県発達障害者支援センターCAS、NPO法人ちばAネット、中核地域生活支援センター連絡協議会、LITALICOワークス船橋、県内障害者就業・生活支援センターなど
2月21日 予定	スタッフ研修「定着支援について」	県内障害者就業・生活支援センター、就労定着支援事業所、就労移行支援事業所、就労継続B型支援事業所など
3月6日 予定	連絡調整会議「障害者と共に「働く」について」	千葉県(職業対策課、障害福祉事業課、産業人材課、総務課)、千葉県教育庁特別支援教育課、千葉障害者職業センター、千葉県立障害者高等技術専門学校、高齢・障害・求職者雇用支援機構、千葉県特例子会社連絡会、千葉県発達障害者支援センターCAS、NPO法人ちばAネット、中核地域生活支援センター連絡協議会、LITALICOワークス船橋、県内障害者就業・生活支援センターなど

- ・その他、県内全16センターを対象に、就労定着支援事業所との連携状況等について、実態調査を実施し、なかばつセンター側からの視点において現状・課題分析を行った。

見えてきた効果と課題

効果

当事者との関係が構築されている状況下に行われる支援
支援の質が担保されている場合、なかぼつの負担軽減

課題

引継ぎと情報共有の在り方
役割分担と支援の質
雇用主の混乱
自己負担の発生

次年度の取り組みについて

- 圏域ごとに就労定着支援事業所等となかぼつセンター間の情報交換機会を設定。支援の質、引き継ぎの在り方等について協議。今後のあるべき姿を共有したうえで、ガイドライン（連携好事例集含む）を作成。
- 就労定着支援事業所等の底上げを図るべく、県内事業所を対象にしたスキルアップ研修会を開催。